

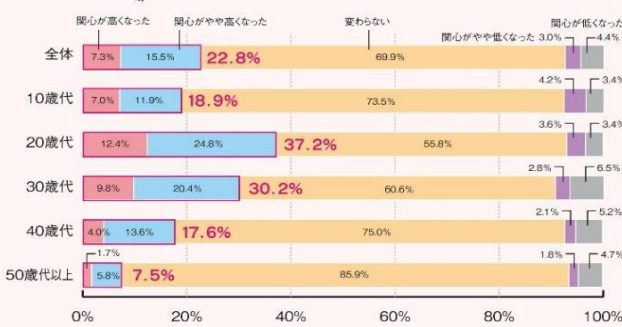
あッ Aしおかげ 61号

発行日 令和3年11月1日
 編集 男女共同参画情報紙編集スタッフ
 (大嶋千恵子・大畑由香・川井幸子・長嶋真理子)
 発行 焼津市 市民環境部 市民協働課
 (〒425-8502 焼津市本町 2-16-32)
 ☎ 054-626-1178
 ✉ kyodo@city.yaizu.lg.jp

©かわいさちこ

男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響下において、結婚への関心に変化はありましたか。(未婚者に質問)



「系吉女昏」について考える



左のグラフを見てみると、コロナ禍において20歳代・30歳代を中心に結婚への関心が高まっていることがわかります。対人関係の回復がもたらすつながりが希薄になる中、家族の存在を心のよりどころにし、家族関係を求める動きが強くなっているようです。

そこで今回のテーマは、家族を作る第一歩ともいえる「結婚」。さまざまな年代の方にアンケートを取り、その結果から見えてくるものを探りました。また静岡福祉大学生との座談会では、これからの社会を担う若い世代の結婚観にも迫ります。

系結婚アンケート Part 1

結婚する？しない？して良かった？など皆さんの意見を聞いてみました。
 年齢 20代…74人、30代…52人、40代…51人、50代…21人、60代以上…17人
 【未婚者99人、既婚者116人】

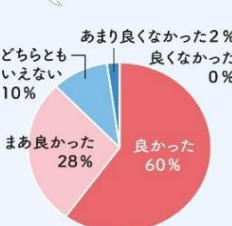
未婚者 結婚したいと考えていますか？



理由
 ・安定したい
 ・子どもが欲しい
 ・親を安心させるため
 ・結婚という形式にこだわっていない
 ・結婚しても責任が増えるだけ
 ・一人が楽 ・経済的に難しい

責任や経済的な負担が増えることへの不安から、結婚に対して消極的な意見もみられました

既婚者 結婚して良かったですか？



理由
 ・幸せだから
 ・家族ができた、子どもに恵まれた
 ・精神的安定を得られた
 ・苦楽を共にできる相手があった
 ・パートナーからのモラハラやワンオペ育児を考えると一人の方がどれだけ楽かと思うことがある

「大変なこともあるけど、幸せ」と感じている人が多かったです

アンケート結果は中面へ続きます→



男女共同参画・人権フォーラムinやいづ2021
 『オール1の落ちこぼれ、教師から主夫になる』
 講師 エッセイスト、元高校教師、作家 ~性別では決まらない役割分担~
宮本 延春さん
オンライン講演会

著書「オール1の落ちこぼれ、教師になる」で知られる元教師。いじめが原因で学校嫌いになり、中1の成績はオール1。23歳の時に見たアインシュタインのビデオに衝撃を受け、豊川高校定時制部、名古屋大学に進学し物理学を学ぶ。現在は、自身の経験から、大人や子どもに夢と希望と感動を与え続けている。

日時 令和3年12月4日(土)
 ●開演 13:30~(開場13:00)
 ●講演会 13:30~15:00
 会場 焼津市役所 大会議室1B
 (焼津市本町2丁目16番32号)
 定員 会場:40名 Zoom:120名

入場無料
 要事前申込

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際は、マスクの着用、手指の消毒及び検温にご協力ください。お断りいたします。
 ※感染拡大の状況により、急遽全てオンラインでの実施や中止、延期を決定する場合があります。ご了承ください。
 ※申込多数の場合は、抽選となる場合があります。

申込・問合せ先 焼津市市民環境部
 市民協働課 ☎ 054-626-1178 kyodo@city.yaizu.lg.jp
 暮らし安全課 ☎ 054-626-1131 kurashianzen@city.yaizu.lg.jp
 12月1日(水)正午までに上記申込先まで電話またはメールでお申し込みください。



「仕事と生活の調和」の実現に向けて、ひとつ「働き方」を力えてみませんか？
 Aしおかげの紙面に隠れているカエルを見つけてみよう！全部で何匹いるかな？
 (答えはAしおかげ4ページ下)

